

1-1 不定詞の名詞的用法(復習)・It ... for - to ~.

学習の内容
不定詞の名詞的用法の意味を確認しよう。(It is ... for - to + 動詞の原形~.)の文の作り方と意味も確認しよう。

暗記例文 It is difficult for him to play the piano.
彼にとってピアノをひくことは難しいです。

Step 1. 不定詞の名詞的用法(復習)

POINT (1) 不定詞は(to+動詞の原形)の形で表す。不定詞には「名詞的用法(～すること)」、「副詞的用法(～するために)」、「形容詞的用法(～するための)の3つの用法がある
不定詞の3つの用法 → p.43 (2) 不定詞
(2) 名詞的用法の不定詞は「～すること」という意味を表し、名詞と同様に、文の中で動詞の目的語、主語、補語になる
不定詞の名詞的用法 → p.43 (2) 不定詞

CHECK 空所をうめよう
(1) I'll go to the park **to** see him. (わたしは彼に会いに公園へ行きます。)
He has something **to** drink. (彼は飲む(ための)ものを持っています。)
(2) To play soccer is fun. (サッカーを **すること** は楽しいです。)

Step 2. It ... for - to ~.

POINT (1) (It is ... to + 動詞の原形~.)で、「～することは…です。」という意味を表す
Itは形式的な主語で、(to + 動詞の原形~)の内容を指し、「それは」と訳さない
(It was ... to + 動詞の原形~)は、「～すること…でした」と過去の意味になる
*(It is ... to + 動詞の原形~)は、(To + 動詞の原形~ is ...)とほぼ同じ意味を表す
例 To read this book is easy. = It is easy to read this book.
(この本を読むことは簡単です。)
(2) (to + 動詞の原形)の前に(for -)を入れて、「～にとって」と(to + 動詞の原形)の動作をする人
を表すことができる。forのあとに代名詞がくる場合は、目的格を使う
代名詞の目的格 → p.37 (2) 1人単代名詞

CHECK 空所をうめよう
(1) **To** get up early is good.
= **It** is good **to** get up early. (早く起きることはよいです。)
(2) It is fun **for** Tom to play the guitar. (トムにとってギターをひくことは楽しいです。)
It was hard for **me** to study math. (わたしにとって数学を勉強するのは大変でした。)

Q1 練習しよう

- (1) 次の英文の意味を表す日本語になるように、()に適する日本語を書きなさい。
□① I like to read books.
わたしは(**本を読むことが**)好きです。
□② Do you have anything to do today?
あなたは今日(**(何か)するべきことが**)ありますか。
□③ He got up early to run in the park.
彼は(**公園で走るために**)早く起きました。
□(2) 次の日本語に合う英文になるように、____に適する語を書きなさい。
□① 彼女の夢は英語の先生になることです。
Her dream is **to be[become]** an English teacher.
□② わたしはオーストラリアに行きたいです。
I want **to go** to Australia.
□③ 朝食を食べることはとても大切です。
To eat[have] breakfast is very important.

Q2 練習しよう

- (1) 次の英文をIt ... to ~.の文にしなさい。
□① To play shogi is difficult.
It is difficult to play _____ shogi.
□② To swim in the sea is hard.
It is hard to swim _____ in the sea.
□③ To dance with my friends was fun.
It was fun to dance with my friends. _____
□④ To use this computer was not easy.
It was not [wasn't] easy to use this computer. _____
□(2) 次の日本語に合う英文になるように、____に適する語を書きなさい。
□① 野球をするのはケンにとって楽しいです。
It is fun **for Ken** to play baseball.
□② わたしの姉にとって、科学を勉強するのはおもしろいです。
It is interesting **for my sister** to study science.
□③ 彼らにとって漢字を書くのはたいへんです。
It is hard **for them** to write kanji.
□④ 歌うことは、あなたにとって大切でしたか。
Was it important **for you** to sing?
☆□⑤ アンにとって日本語を話すのは難しいが、日本に住みたいと思っています。
It is difficult **for Ann** to speak Japanese, but she wants **to live** in Japan.
HINT (2)⑤ 前半の文は形式主語を使った文。後半の文は不定詞がwantの目的語になっている。

解説

Q1

- (1)① 《like to + 動詞の原形》で「～することが好きだ」という意味です。不定詞の名詞的用法の文です。
② 《to do today》「今日するべき」がanythingを修飾している文です。不定詞の形容詞的用法の文です。
③ 《to run in the park》は「公園で走るために」という意味で、《got up early》「早く起きた」という動作の目的を表します。不定詞の副詞的用法の文です。
(2)① 「～になる」はbeまたはbecomeを使って表します。
② 「～したい」は《want to + 動詞の原形》で表します。
③ 「食べる」はeatかhaveで表します。

Q2

- (1) 不定詞が主語の文を、《It is ... to + 動詞の原形~.》の文に書きかえます。《To + 動詞の原形~》の部分形式主語Itにかえ、to以下を文のうしろに置きます。
① 《play shogi》で「将棋をさす」という意味です。
② このhardは「難しい」という意味です。《swim in the sea》は「海で泳ぐ」という意味です。
③ funは「おもしろいこと」という意味の名詞です。過去の文なので《It was ... to ~.》とします。
④ 《It was ... to ~.》の文を否定文にするときは、《It was not [wasn't] ... to ~.》とします。
(2) 「～にとって」はfor ~で表します。forのあとに代名詞がくるときは目的格になります。
③ they「彼らは」の目的格はthemです。
④ you「あなたは」の目的格は形の同じyouです。
⑤ 《want to + 動詞の原形》で「～することを欲する」→「～したい」という意味を表します。

1-2 want - to ~ / tell[ask] - to ~

学習の内容 (want [tell, ask] + 人 + to + 動詞の原形) という形の文の、意味と使い方を確認しよう。

Step 3. want - to ~

- POINT** (1) (want to + 動詞の原形) で「～したい」という意味を表す。「名詞的用法」の不定詞 (to + 動詞の原形) が動詞 want の目的語になっている **不定詞の名詞的用法** → p.43 **② 不定詞**
 (2) (want + 人 + to + 動詞の原形) で「～に～してほしい」という意味を表す
 * to の前の「人」が、(to + 動詞の原形) の動作をする人を表す

- CHECK** 空所をうめよう
- (1) I want **to** buy this bag. (わたしはこのバッグを買いたいです。)
- (2) He wants me to play the piano.
 (彼は **わたしに** ピアノをひいてほしいと思っています。)
- I want my brother to be a soccer player.
 (わたしは **わたしの兄[弟]に** サッカー選手になってほしいです。)

Step 4. tell[ask] - to ~

- POINT** (1) (tell + 人 + to + 動詞の原形) で「～に～するように言う」という意味を表す
 この文は (say to + 人, “命令文”) で言いかえることができる **命令文** → p.38 **① 命令文**
 例 He tells me to speak slowly. = He says to me, “Speak slowly.”
 (2) (ask + 人 + to + 動詞の原形) で「～に～するように頼む」という意味を表す
 この文は (say to + 人, “Please + 命令文”) で言いかえることができる
 例 I asked him to open the door. = I said to him, “Please open the door.”

- CHECK** 空所をうめよう
- (1) He told **us** **to** read this book.
 (彼はわたしたちにこの本を読むように言いました。)
 = He said to us, “**Read** this book.”
 (彼はわたしたちに「この本を読みなさい。」と言いました。)
- (2) I **asked** Yumi **to** clean this room.
 (わたしはユミにこの部屋を掃除するよう頼みました。)
 = I said to Yumi, “**Please** clean this room.”
 (わたしはユミに「この部屋を掃除してください。」と言いました。)

Q3 練習しよう

- (1) 次の英文の意味を表す日本語になるように、() に適する日本語を書きなさい。
- ① She wants to live in Okinawa.
 彼女は(**沖縄に住みだっています**) 。
- ② I didn't want to practice tennis yesterday.
 わたしは昨日、(**テニスを練習したくありませんでした**) 。
- (2) 次の日本語に合う英文になるように、() に適する語を書きなさい。
- ① あなたは彼にこの本を読んでほしいのですか。
 Do you want him to read this book?
- ☆□② 朝食を食べるのはよいことです。だから、わたしはあなたに朝食を食べしてほしいです。
It is good to eat breakfast. So I want you to eat breakfast.
- HINT** (2)② 前半の文は形式主語を使った文。後半の文は (want + 人 + to + 動詞の原形) の文。

Q4 練習しよう

- (1) 次の日本語に合う英文になるように、() に適する語を書きなさい。
- ① わたしはその男の子に家に帰るように言いました。
 I told the boy to go home.
- ② ホワイト先生はわたしたちに英語を話すように言います。
 Mr. White tells us to speak English.
- (2) 次の日本語に合う英文になるように、() 内の語(句)を並べかきなさい。
- ① わたしたちは彼女にピアノをひくように頼むつもりです。
 We will (her / ask / play / to) the piano.
 We will **ask her to play** the piano.
- ☆□② 母は兄に部屋を掃除するように言い、兄はわたしに部屋を掃除するように頼みました。
 My mother (to / my brother / clean / told) his room, and my brother (me / asked / clean / to) his room.
 My mother **told my brother to clean** his room, and my brother **asked me to clean** his room.

チャレンジ問題!! 今まで習ったものも含めて理解できているかな?

▶ 次の() に適する語を下の() 内から選んで書きなさい。同じ語を何度使ってもかまいません。

My name is Kawada Megumi. My parents want (①) to be a teacher. But I don't want to be a teacher. My dream is to work in foreign countries. Now it's not easy (②) me to speak English. So I want to study English harder. An American woman lives near my house. I will ask (③) to teach (④) English.
 (me them him her for to)

□① me □② for □③ her □④ me

解説

Q3

- (1)② practice は「練習する」という意味です。
- (2)② 前半の文は《It ... for - to + 動詞の原形～.》の文です。後半の文は《want + 人 + to + 動詞の原形》の文です。「人」を表す語が代名詞の場合は目的格を使います。you「あなたは」の目的格は同じ形の you です。

Q4

- (1)① 過去の文なので、tell の過去形の told を使います。
- ② 主語が3人称単数で現在の文なので、tells と s をつけます。「わたしたちに」は目的格の us を使います。
- (2)① 《ask + 人 + to + 動詞の原形》の語順にします。
- ② 「～に～するように言う」は《tell + 人 + to + 動詞の原形》で、「～に～するように頼む」は《ask + 人 + to + 動詞の原形》で表します。

チャレンジ問題

- ① そのあとの文で「でもわたしは先生になりたくありません。」と言っているので、「両親はわたしに先生になってほしい。」という意味を表す文にします。
- ② 《It ... for - to + 動詞の原形～.》の文。《for me》で「わたしにとって」という意味になり、to 以下の動作をする人を表します。
- ③④ 《ask + 人 + to + 動詞の原形》の文。直前の「アメリカ人の女の子」に「わたし」が英語を教えようと思うのが適当です。

全訳

わたしの名前は川田恵です。わたしの両親はわたしに先生になってほしいと思っています。でもわたしは先生になりたくありません。わたしの夢は外国で働くことです。今は、わたしにとって英語を話すことは簡単ではありません。だからわたしはもっといっしょうけんめい英語を勉強したいです。わたしの家の近くにアメリカ人の女の子の人が住んでいます。わたしは彼女に、わたしに英語を教えるよう頼むつもりです。